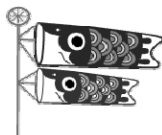


行事予定表		
7	月	絵本の読み聞かせ
8	火	リトミック(3歳児以上)
9	水	尿回収日(尿検査キット配布は7日)
10	木	カレーの日
12	土	保育参観・保護者会総会
15	火	ピョピョ
16	水	おべんとうデー
17	木	歯科検診/サロン
18	金	不審者対応訓練
22	火	おいしいなお話し
24	木	内科検診
25	金	避難訓練
29	火	巡回相談
31	木	誕生会/交通安全教室(5歳児)

入園して二回目の金曜日、年少さん達が走ってきた。「また明日一緒に遊ぼう」と。「明日は、お休みだよ。」園長先生は幼稚園に来ないよ」と言うこと「やだ、明日も来て、遊ぼう」ときかない。二週間しか経っていないのに、よほど幼稚園が楽しいのだろう。気持ち良さそうに鯉のぼりが泳いでいた。ロープに絡まって、だらりと伸びている一匹を指さし、「一つだけ、ずるして休んでいる。」昔、年少児が唄っていた歌を思い出していた。「屋根より高い・・・大きなマグロはお父さん」なんだか、ほのぼのとした家庭の風景が浮かんできた。

五月は子どもの季節！
新緑が美しく、花が咲き乱れ、田植えが始まる。小鳥が唄い、新しい命が生まれ、生命が躍動する季節。
子ども達と自然を謳歌しよう。

理事長 浅田精利



今月の予定の中から・・・

●絵本の読み聞かせ(7日)

・幼児教育指導員の宮本先生と栗山先生が、今年度も、毎月絵本や紙芝居を5歳児に読み聞かせに来て下さいます。

●リトミック(8日)

・今年度も中島先生よりご指導をして頂きながら、音を感じ、リズムを身体で表現することを楽しみます。

●尿検査キット配布(7日)回収日(9日)

・尿検査は、お子さんの健康管理にとって大切なものです。必ず9日の朝、ご家庭で尿の採取をお願いします。・詳しい内容は後日配布される「保健だより」をご確認ください。

●カレーの日(10日)

みんなで力を合わせてカレー作りをします。
・5歳児(ぞうぐり組)の子ども達が近隣へ買い物に行きます。翌日、2歳児(ほしぐみ)が5歳児に教わりながら、野菜を洗います。当日は、4、5歳児が野菜を切ります。5歳児が釜戸係・フルーチェ係と・小さいクラスの配膳を手伝います。3歳児(たいちぐみ)はフルーチェ作りに挑戦します。0、1、2歳児は野菜を切る音、釜戸の木が燃えるにおいや音などを五感で感じて欲しいものです。

●保育参観&保護者会総会(12日)

・お忙しいとは思いますが、是非ご参加ください。詳細につきましては、先日のお知らせをご確認ください。

●おべんとうデー(16日)

・お弁当の中には要冷蔵のもの(ゼリー・プリン等)やピック・爪楊枝は入れないようにお願いします。最近、暑い日もありますので、お弁当には必ず保冷剤を入れてください。今月も、子ども達の大好きなお弁当作りを宜しくお願いします。



●歯科検診(17日)

・全員の方に歯科受診をお願いします。なお、当日欠席の場合でも、検診時間内に受診をお願いします。また、受診できない場合は、ご家庭にて、かかりつけの医院で受診して頂く事になります。詳しくは5月の「保健だより」をお読みください。

●巡回相談(29日)

・お子さんの成長で気になる事やご相談がありましたらどうぞお気軽にお声かけください。勿論、園へも気兼ねなくご相談ください。

●誕生会(31日)

・誕生会は子ども達にとって1年に1度の大切な日！特別な日となりますように・・・

●交通安全教室(31日) 13時半～

・今月も5歳児のみの参加です。道路を渡るときは「右・左・右」お子さんと一緒に確認しましょう！

★お知らせ☆お願い

★今年の夏祭りは 8/18(土)に決定致しました。保護者会役員の方々と企画をしていきます。

★保育補助で勤務していた石崎栗先生が先月より産休に入りました。

☆お迎えカードの携帯をお願いします。

「正々堂々」

大河ドラマ「西郷どん」が放映されている。薩摩の郷中教育と会津の侍の掟で、共通している教えがある。ウソつくな、卑怯な事(ズル)をするな、弱い者いじめをするな、ということである。

▼私は、東京の下町で育った。戦後間もなくの下町は、ベビーブームだった。子ども達は、いつも群れて遊んでいた。この家庭も子沢山だった。親は、教育熱心だが食べさせることに夢中で、子どもにかまってはいられたなかった。その分、子ども達は自由で、朝から晩まで遊ぶこ

とができた。年長者に連れられ、集団で遊んだ。その中で集団のルールや、長幼の序など、人間の生き方を学んだ。メンコ、ビー玉、ベーゴマなど、賭け事に近い勝負もあった。そこでは、決してズルは許されなかった。技術、知力、胆力、勇氣、思いやりのある者が、尊敬を集めガキ大将になった。決して腕力だけではダメであった。スリルのある真剣な遊びには、厳しいルールがあった。ウソをつくと、順番を守らない、ルールを破るなど、ズルをする途端に「キタネーゾ、ズルイゾ」と非難された。子ども達は、ズルをしない、ウソつかない、正々堂々と遊ぶ(勝負する)ことを学んだ。

▼国会での「モリ・カケ」のやり取りを見ていて、この人達は幼児期に大勢の子ども達の中で遊んで育ってないのだ、と思った。高学歴で政治家のトップにいるのに、ウソ、ズルで正々堂々としていない。お友達に特別の便宜を図ったり、10億もする土地をただ同然にしたりして、それが明るみに出ると、ウソをついたり隠したり、本当のことは話さず、真実を隠し続ける。勉強ばかりして、東大に行ったり、名家のお坊ちやまとして又クヌクと育てられ、集団の中で「ウソつくな、ズルするな、正々堂々と生きる」と教えられずに育った人々なのだ。ふたばでは、教育勅語を暗唱させたり、「○○夫人、○ ○総理大臣をいつも支えて下さり・・・」と唱和させたりしない。意味のないことを暗記させたりせず、ウソつくな、ズルするな、正々堂々と生きる、と育てている。政治家のトップにいる人は、東大や、お坊ちやま大学に行くより、ふたばランドに来ればよかったのに。

理事長 浅田精利

